

[1] 講演会のお知らせ：次の通り開催いたします。

- (1)日 時：昭和53年10月27日(金) 13:30 ~ 16:00。  
(2)会 場：蔵前工業会館5階ホール(国電新橋駅下車, 海岸側へ1分)。  
(3)講 演：IFTOMM関係分野の全員を対象とした講演。

- |   |
|---|
| ① IFTOMM国際シンポジウム「歯車と歯車装置(ユ-ゴ-)」に出席して、<br>千葉工大 塚本 尚久 氏 13:40 ~ 14:00 |
| ② ROMANSYの周辺 - ROBOTICSの将来 -<br>早 大 加藤 一郎 氏 14:00 ~ 15:00           |
| ③ 知能ロボットシステムについて。<br>東 大 井上 博允 氏 15:00 ~ 16:00                      |

(4)会 費：会場費実費(600円位)を当日会場でいただきます。  
会員以外の方も、会場に余裕がある場合には参加いただき結構です。

(5)申 込：会場準備のため、10月25日頃までに葉書で(やむをえぬときは電話で)下記に「出席、氏名、勤務先」をお申出下さい。

〒113 文京区本郷7-3-1 東京大学工学部 精密機械工学科  
電話03-812-2111 内. 7885 高野 政晴 (事業担当)

[2] IFTOMM関係・国際会議：詳細は仮事務所へお問合せ下さい。

- (1)題 目：「Man Under Vibration: Suffering and Protection」  
(2)時 期：1979年4月3~6日  
(3)場 所：Udine(イタリ-)  
(4)締 切：申込、1978年7月31日, 原稿、1978年11月30日

[3] 新事務所の決定：精機学会(国際協力委員会)で本会の事務を取扱ってくださることが正式に決まりました。11月から本会の事務所が次のように変わります。

(新) 〒160 新宿区百人町2-22-17, セラミックビル, <sup>社団法人</sup>精機学会内  
日本IFTOMM会議事務所。

(仮) 〒227 横浜市緑区長津田町4259, 東京工業大学精密工学研究所内  
日本IFTOMM会議仮事務所, 林 輝

[4] 次回会合の予定：昭和54年1月下旬に総会および講演会。

以 上



# 日本 I F T o M M 会 議 昭 和 5 3 年 度 収 支 決 算 書

## (I) 一般会計

### 収入の部

項 目	決 算	備 考
会 費 収 入	4 3 5,0 0 0	3 0 0 0 円×1 4 5 名
講 演 会 収 入	2 4,3 0 0	
雑 収 入	2,2 3 1	預金利子
小 計	4 6 1,5 3 1	
前 受 金	3,0 0 0	5 4 年 度 会 費 1 名
合 計	4 6 4,5 3 1	

### 支出の部

項 目	決 算	備 考
会 議 費	5 8,1 7 0	会場費など
講 演 会 費	2 0,0 0 0	講師車代
印 刷 通 信 費	3 7,9 1 7	切手, タイプ, コピー用紙
雑 費	1 0,8 4 2	銀行手数料など
小 計	1 2 6,9 2 9	
次 期 繰 越 金	3 3 7,6 0 2	
合 計	4 6 4,5 3 1	

## (II) MMT 誌会計

### 収入の部

項 目	決 算	備 考
MMT 誌購読料収入	3 1 5,0 0 0	5 0 0 0 円×6 3 名

### 支出の部

項 目	決 算	備 考
出版社への購読料支払い	2 8 4,0 1 4	US\$ 2 1.6 0 ×6 4 名
雑 費	1,8 8 0	銀行, 送金手数料
小 計	2 8 5,8 9 4	
次 期 繰 越 金	2 9,1 0 6	
合 計	3 1 5,0 0 0	

## 日本 IFToMM 会議 昭和 54 年度予算

### (I) 一般会計

#### 収入の部

項 目	金 額	備 考
会 費 収 入 (個人)	4 2 0,0 0 0	3 0 0 0 円×1 4 0 名
"    (賛助)	2 0 0,0 0 0	5 0 0 0 0 円×4 社
前 期 繰 越 し 金	3 3 7,6 0 2	
合 計	9 5 7,6 0 2	

#### 支出の部

項 目	金 額	備 考
<u>国外活動費</u>	<u>2 7 5,0 0 0</u>	
I F T o M M 入 会 金	2 5,0 0 0	
"    年 会 費	2 0 0,0 0 0	
"    連 絡 費	3 0,0 0 0	
賛 助 会 員 M M T 誌 代	2 0,0 0 0	
<u>国内活動費</u>	<u>6 8 2,6 0 2</u>	
会 議 費	5 0,0 0 0	会 合 隔 月 1 回
講 演 会 費	8 0,0 0 0	
印 刷 通 信 費	1 7 5,0 0 0	I F T o M M ニ ュ ー ス 年 4 回
事 務 委 託 費	3 0,0 0 0	
雑 費	1 0,0 0 0	
予 備 費	3 3 7,6 0 2	
合 計	9 5 7,6 0 2	

(II) MMT 誌会計

収入の部

項 目	金 額	備 考
MMT 誌購読料収入	315,000	5000円×64名
前期繰越金	29,106	
合 計	344,106	

支出の部

項 目	金 額	備 考
出版社への購読料支払	284,014	US\$21.60×64名
雑 費	1,880	
予 備 費	58,212	
合 計	344,106	

# 日本 IFToMM 会議会則

第 1 条 (名 称) 本会は日本 IFToMM 会議と称する。本会の英文名称を Japanese Council for the Theory of Machines and Mechanisms (略称 JCToMM) とする。

第 2 条 (所在地) 本会の事務局を社団法人精機学会内におく。

第 3 条 (目 的) 本会は International Federation for the Theory of Machines and Mechanisms (IFToMM) のわが国における諸活動をおこない、国内におけるこの分野の発展をはかることを目的とする。

第 4 条 (事 業) 本会は次の事業を行うものとする。

1. IFToMM の事業に関する連絡, IFToMM への意見, 提案
2. IFToMM の学術講演会の発表論文の推薦
3. 機関誌 MMT の共同購入, 投稿指導
4. 全世界の IFToMM 会員の相互の紹介と連絡
5. 国内における講演会, シンポジウム, 講習会, 研究発表会の開催
6. その他, 会の目的にそつ各種事業

第 5 条 (会 計)

- (イ) 本会の維持は会員の会費による。会員は毎年 3 月末日までに次年度の会費を納入しなければならない。
- (ロ) 会費の額は総会において定める。
- (ハ) 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日より翌年 3 月末日までとする。

第 6 条 (組 織)

- (イ) 会員は個人会員および賛助会員の 2 種類とする。賛助会員は本会に対する代表者 1 名を置く。
- (ロ) 本会に下記の委員および会計監事を置く。
  - 1) 委 員 長 1 名 会を代表し会務を総括する。
  - 2) 副委員長 2 名 委員長を補佐し, 必要あるときは委員長の業務を代行する。
  - 3) 委 員 若干名 会の事業の企画・実行などの会務を処理する。
  - 4) 会計監事 2 名 会の会計を監査する。
- (ハ) 委員および会計監事は総会において選出し, 委員の中から委員の互選によって委員長および副委員長を選出するものとする。

(ニ) 委員および会計監事の任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

## 第7条(総会)

(イ) 本会の最高決議機関として会員全員による総会を原則として年1回開催する。

(ロ) 総会の議決は出席者の過半数により行うものとし、可否同数の場合は議長がこれを決定する。ただし、賛助会員の議決権は個人会員と同じく1票とする。

(ハ) 総会の議長には委員長が当るものとする。

(ニ) 総会の付議事項は下記のとおりとする。

- 1) 委員および会計監事の選出(2年に1回)
- 2) 会費額の決定または変更
- 3) IFToMMへの拠出金の決定
- 4) 予算および決算(毎年)
- 5) 会則の変更
- 6) 会の解散
- 7) その他の会の運営に関する重要な事項

(ホ) 上記付議事項のうち、会則の変更および会の解散には出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

(ヘ) 総会から次の総会までの間の会の運営は、委員会が責任をもってこれに当るものとする。

## 第8条(入会および退会)

本会に入会するには、入会申込書に会費1年分を添えて申込むものとする。退会するには書面をもってその旨申出ることとし、その際既納の会費は払戻さない。なお、会費の滞納1年以上におよぶ場合は会員の資格を放棄したものとみなし除名することがある。

以上